

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	13	活気みちた往来の盛んなまちの基盤づくり	5	国際交流・地域間交流の推進	1	国際交流の推進
事業名	国際交流推進事業					
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費
	目	1	国際交流等推進費	細々目	1	国際交流等推進費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
国際理解の推進、人材育成のため、平成4年にオーストラリア・レッドクリフ市(現在はモートンベイ市)と姉妹都市提携をした。その際、市民参加による草の根国際交流を行うため、市国際交流協会を立ち上げ、諸事業を展開している。市としても協会の活動を支援し、市民レベルでの国際交流を推進する必要がある。	市民レベルの国際交流諸活動への参加を促し、国際理解の推進、国際感覚豊かな人材の育成を図る。将来的には国際交流協会の運営の自立化も図る。	補助金交付事務、事務局として市国際交流協会を運営し、各種事業を企画・実施する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
国際交流協会の事業数		参加者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	81.3 %
7(事業)	7(事業)	150(人)	122(人)	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	国際交流協会補助金	300,000	300,000	財(源割内訳)	国庫支出金		
	国際交流協会賛助会費	52,000	51,600		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		352,000	351,600	
合計		352,000	351,600	合計		352,000	351,600
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	1,171,740				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
	13	活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり			5	国際交流・地域間交流の推進			1	国際交流の推進		
事業名	中学生海外派遣事業											
予算費目	款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	17	国際交流等推進費	
	細目	1	国際交流等推進費		細々目	1	国際交流等推進費		会計種別	一般		
事務区分(根拠法令)			自治事務					予算種別	継続		經常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
国際理解の推進・人材育成のため、平成3年度から友好親善大使として中高生を海外に派遣する事業を開始した。平成4年度に旧レッドクリフ市と姉妹都市提携以後、同市へ派遣。平成15年度以降は中学生のみとなり、財政的な事情により隔年実施とし、平成19年度は派遣しない予定であったが、市民からの寄附により実施することができた。平成21年度から派遣者の選考方法を暗唱大会方式から各校推薦方式に変更し、現在に至る。(ただし、H21は世界的なインフルエンザの流行のため未実施)		母校を代表する親善大使として中学生を派遣し、両市の友好親善と相互理解を深めるとともに、広い視野と国際感覚を持った次代を担う人材の育成を図る。		派遣する中学生を市内各校から1人ずつ学校長の推薦に基づき選考し、約2週間、姉妹都市のオーストラリア・モートンベイ市に派遣する。引率者は市内小中学校教員1名。 市民への周知するため、公共施設・商業施設等でパネル展を開催する。 事業の効果を検証するために、アンケート調査を実施する。	
活動指標			成果指標		
派遣回数			派遣者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
1(回)		1(回)		100	
				%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
6(人)		6(人)			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	11,000	10,400	財(源割内訳)	国庫支出金		
	委託料	1,676,500	1,555,775		県支出金		
	使用料	18,000	14,300		地方債		
					その他	180,000	180,000
			一般財源		1,525,500	1,400,475	
合計		1,705,500	1,580,475	合計		1,705,500	1,580,475
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,186,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
事業の実施状況などを市民に周知する。		この事業の市民への周知・理解をさらに充実する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			